ラウンドアバウトの普及促進に向けて

"円"と"縁"が結ぶ新たなまちづくり

ラウンドアバウトとは

○ラウンドアバウトの特徴

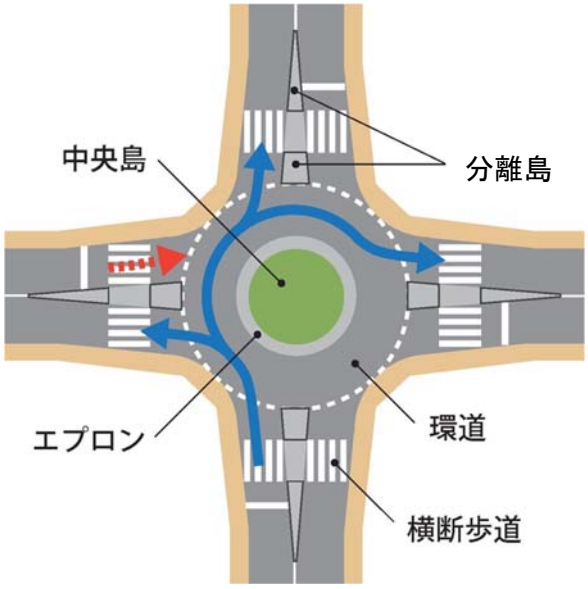
・円形交差点のうち、環道の交通が優先されるもの

・時計回りの一方通行

・環道には徐行して流入し、
横断歩行者や環道内に通行車両がなければ、
一時停止なしに流入が可能

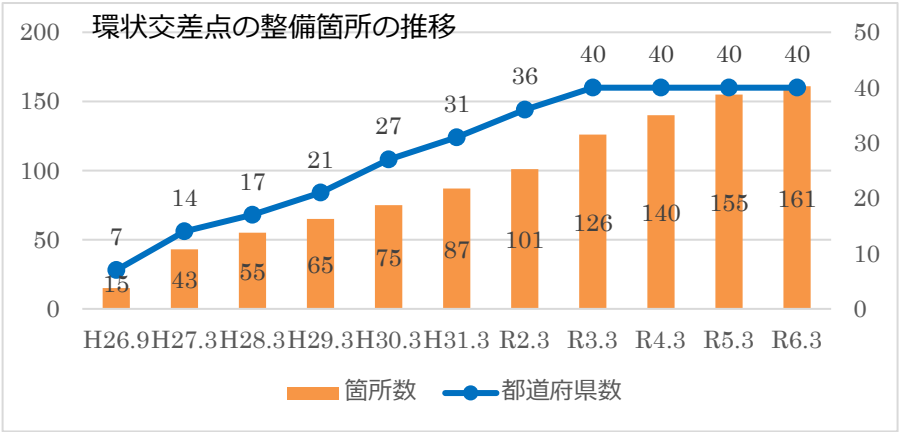
・近年、欧米諸国では積極的に導入され、
交通事故の減少などの効果が多数報告されている

・日本では、平成 26 年９月１日に改正道路交通法が
施行され、ラウンドアバウトが「環状交差点」として
位置付けられた



○整備状況

日本国内では、
40 都道府県 161 箇所で整備
（令和６年３月末現在）



出典：警察庁資料を元に作成

全国ラウンドアバウト普及促進協議会

設立趣旨・活動内容

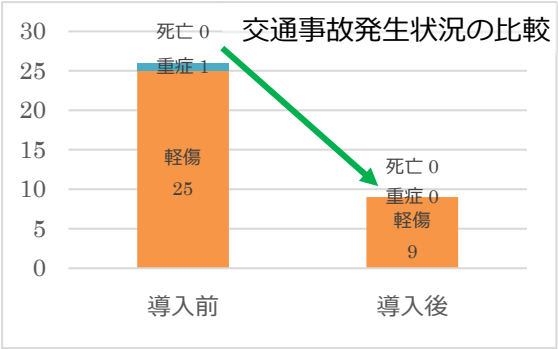
平成 26 年９月１日に改正道路交通法が施行され、ラウンドアバウトが「環状交差点」として位置付けられたことをうけ、同年９月 26 日にラウンドアバウト普及促進協議会を設立しました。

ラウンドアバウトの適正な普及促進を行うため、積極的に情報交換・情報発信を行い、国をはじめ関係機関へ財源の確保や技術的支援を求めるとともに、ラウンドアバウトの有効性の発信を行うことを目的とし、研修会の開催や関係省庁への要望活動の実施などに取り組んでいます。

ラウンドアバウトの導入効果

安全性　速度の抑制による効果
交錯ポイントの削減　⇒重大事故を抑制

ラウンドアバウト導入後は、
導入前と比較して事故が減少
また、重大事故が発生していない



出典：警察庁資料を元に作成
対象：導入前後の比較が可能な 119 箇所
導入前：環状交差点導入前１年間の事故発生状況
導入後：環状交差点導入次年次１年間の事故発生状

円滑性　信号による停止の解消
多枝交差点の制御も可能　⇒無駄な待ち時間の解消

環境性　無駄な待ち時間の解消
信号制御の電力消費不要　⇒CO_2の削減

経済性　信号機の設置費・維持管理費等の削減

自立性　災害時や停電時にも
自立（自律）性を発揮　⇒災害に強い

地震などによって信号が停電したときも、安全に通行が可能



全国ラウンドアバウト普及促進協議会

山形県村山市	山形県長井市	長野県飯田市	長野県軽井沢町
岐阜県多治見市	静岡県静岡市	静岡県浜松市	静岡県富士宮市
静岡県磐田市	静岡県焼津市	静岡県袋井市	愛知県一宮市
滋賀県守山市	福岡県うきは市	長崎県諫早市	大分県津久見市



「ランナバちゃん」
ｷｬﾗｸﾀｰﾃﾞｻﾞｲﾝ:春アキ 氏

事務局／滋賀県守山市　建設部　道路河川課　道路係
TEL：077-582-1157　FAX：077-582-69473
E-mail：dorokasen@city.moriyama.lg.jp
協議会 HP：https://www.city.iida.lg.jp/site/roundabout/

▲協議会 HP